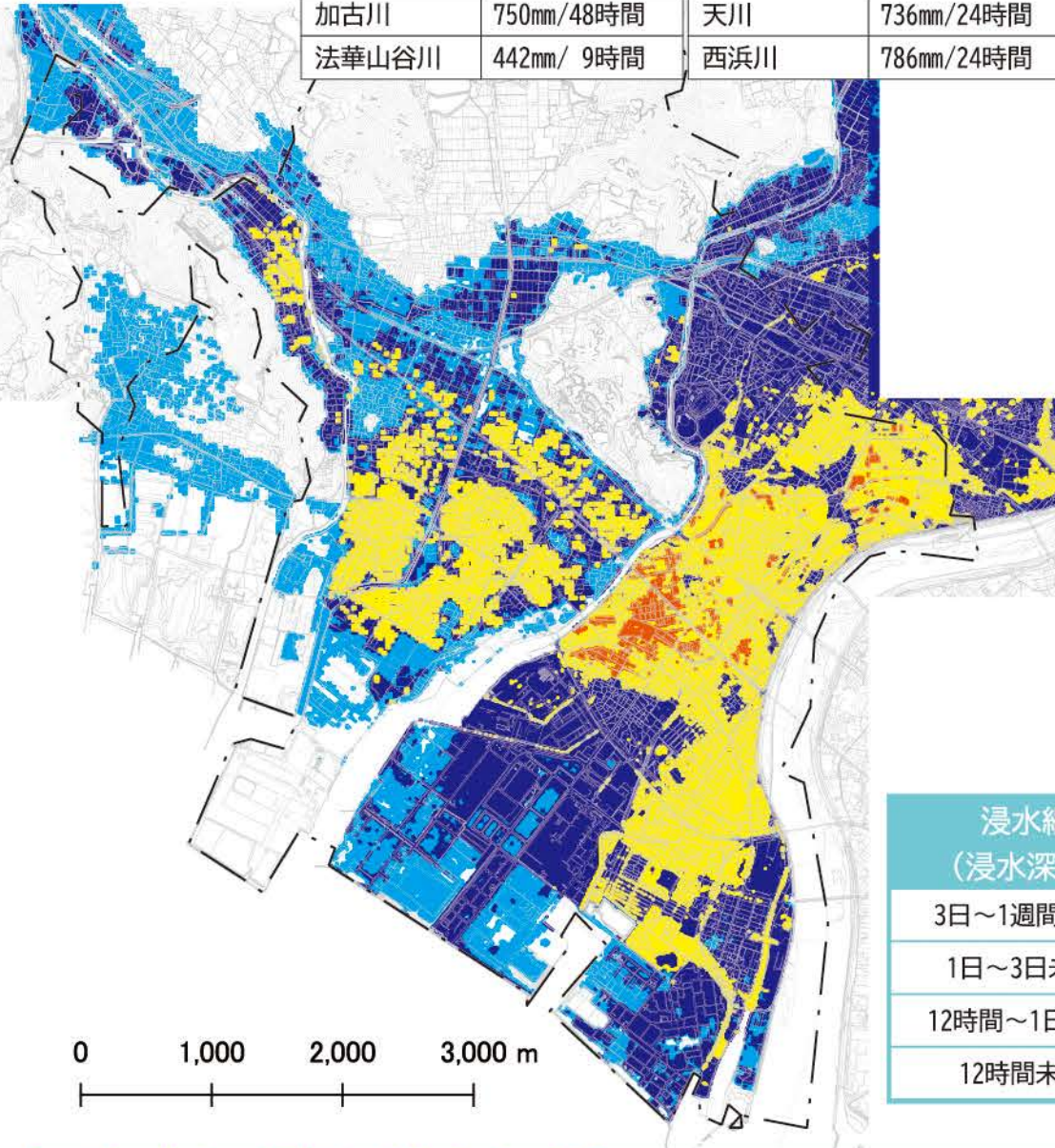


浸水継続時間マップ（想定最大規模降雨 加古川、法華山谷川、天川、西浜川）



想定に用いた河川の氾濫条件：想定最大規模降雨
（概ね1000年に1回程度の大雨）

河川名	想定降雨量	河川名	想定降雨量
加古川	750mm/48時間	天川	736mm/24時間
法華山谷川	442mm/ 9時間	西浜川	786mm/24時間



浸水継続時間
（浸水深0.5m以上）

3日～1週間未満	赤
1日～3日未満	黄
12時間～1日未満	橙
12時間未満	青

浸水継続時間について

洪水が発生してから水が引くまでの時間は、降水量や地形などによって異なります。浸水継続時間とはある地点の浸水の深さが、屋外への避難が困難となり孤立する可能性のある「**浸水の深さが50cm以上になってから50cmを下回るまでの時間**」を示したものです。

（出典：首相官邸ホームページ）



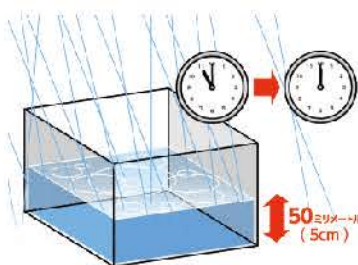
浸水継続時間が長い地域では、立ち退き避難を行わなかった場合、ライフラインが絶たれることなどにより避難生活が困難となるおそれがあります。

内水氾濫と外水氾濫

雨の降り方（1時間雨量）

（気象庁より引用）

●降水量とは
降った雨がどこにも流れ出る事がなく、その場所にたまった場合の水の深さを表し、単位はmm（ミリメートル）が使われます。



やや強い雨

（10mm～20mm 未満）



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

強い雨

（20mm～30mm 未満）



土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川なら氾濫、がけ崩れの心配もあります。

激しい雨

（30mm～50mm 未満）



激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

非常に激しい雨

（50mm～80mm 未満）



滝のように降り、あたりが水しぶきで白くなります。屋内で寝ている人の半数が気付くほどの激しい雨です。

猛烈な雨

（80mm 以上）



息苦しくなるような圧迫感があります。大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。

内水氾濫について

街に降った雨が雨水処理能力を超えて、側溝などに流れず、そのまま溜まる場合や、川に排水することが出来ない水が溢れることをいいます。この場合はマンホールや側溝などから逆流してきてあふれます。

街中の排水が間に合わず地下水路や側溝などから水があふれ出す。



本流へ流れ込めず、支川に逆流した水により、街中へとあふれ出す。

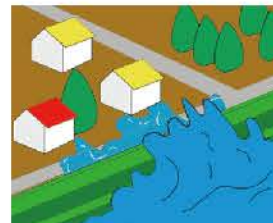


内水氾濫浸水想定マップは・・・⑪⑫へ

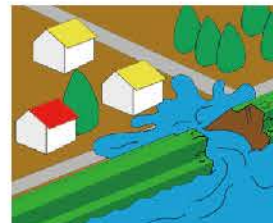
外水氾濫について

川の水が堤防から流れこんでくる洪水のことをいいます。大量の高速氾濫流が一気に市街地に流入し、短時間で住宅等の浸水被害が起こります。しかも、流れこんでくるのは泥水のため、洪水が去ったあとも家には土砂が堆積してしまうなど、復旧が大変困難な状況になります。

増水した河川の水が堤防の高さを超えて街中にあふれ出す。



流れの速い川の水流により堤防が決壊し、街中にあふれ出す。



外水氾濫に関するハザードマップは・・・③～⑧へ